

# 令和5年度 私立学校等就学奨励費申請書

(申請番号)

横浜市長

次の理由により私立学校等就学奨励費を申請します。なお、奨励費の請求・受領・戻入・復委任等については学校代表者(校長又は理事長)に委任します。また、横浜市教育委員会による私の所得等の確認について同意します。(※)

令和5年9月1日

鉛筆等、消すことのできる筆記用具での記入は不可

必ず押印してください。  
※外国籍の方はサインでも構いません。

区内

小  
(初級部)  
中  
(中級部)

学校

フリガナ ヨコハマ ハナコ

氏名

横浜 華子

生年月日: 平成28年8月1日

\*身体の状況:

住所 横浜市 中区 本町6-50-10

氏名 横浜 太郎

続柄 (父) 生年月日 大正昭和平成 53.10.2

電話番号 〇〇〇 (×××) □□□□

\*身体の状況 障3級

職業 会社員

※ 所得等の確認は、ご本人の同意に基づいて行います。申請者の方が確認に同意されない場合は、申請文にある「また、横浜市教育……同意します。」の部分に二重線で削除してください。

## 世帯状況【申請者(保護者)及び児童・生徒を除く同居・同一生計の世帯全員を記入】

氏名	続柄	所得等の確認について (18歳以上の方のみ)	生年月日	*身体の状況	職業または在学学校名・学年
横浜 夢子	母	同意する場合は本人の印または署名 (印) (横浜 夢子)	大正昭和平成令和 57.6.10		パートタイマー
横浜 二郎	兄	同意する場合は本人の印または署名 (印) ( )	大正昭和平成令和 25.4.20		港町小学校4年
横浜 陽子	妹	同意する場合は本人の印または署名 (印) ( )	大正昭和平成令和 29.11.16		なし
区内 一男	祖父	同意する場合は本人の印または署名 (印) (区内 一男)	大正昭和平成令和 25.10.18		なし
区内 陽子	祖母	同意する場合は本人の印または署名 (印) (区内 )	大正昭和平成令和 32.1.6		なし
		同意する場合は本人の印または署名 (印) ( )			

◎小学校1年生・中学校1年生で、次に該当する方のみ  をしてください。  
すでに申請児童・生徒の入学準備費を受給しています。(他都市での受給を含む)  はい、受給しています。

### 申請理由

※「お知らせ」を参照し、1～3の該当番号に

1～3の該当する項目の番号を印をしてください。  
2～3に該当する場合は「お知らせ」を参照し、証明となる書類を添付してください。

1 令和5年度に生活保護を受けている。

2 令和5年度に児童扶養手当を受けている。

3 上記1～2に該当しないが、その他経済的に児童・生徒が就学困難

※申請理由3の場合、経済的に困りになる特別の理由を具体的にお書きください。

2～3に該当する場合は、証明書を添付してください。(所得等の確認に同意の場合は、添付を省略できます)

特別の理由 ・扶養家族が多く、経済的に困難である。 ・高額な医療費がかかり経済的負担が重い。

\*「身体の状態」欄は、障害がある場合は「障〇級」と記入してください

学校記入欄	入学年月日 平成 令和	入学学年 第 学年
-------	-------------------	--------------

学校 教 委 記 入 欄	
-----------------------------	--

◎この申請書にご記入の内容については、私立学校等就学奨励事務にのみ使用させていただき、プライバシーには十分配慮して取扱います。

申請時に同居・生計を共にしている方全員について記入してください

ご本人のものであれば押印と署名はどちらでも構いませんが、どちらも抜けている場合は所得等の確認を行うことはできません。また、十八歳未満の方は同意の有無欄は未記入で結構です。

保護者の方が記入する必要はありません。

小学校1年生・中学校1年生の申請の場合、他都市において入学準備費をすでに受給している方は印をしてください。

申請理由3で申請される場合、経済的に困りになる特別な理由や、困り始めた時期をお書きください。

保護者の方が記入する必要はありません。